

本部婦人会

創立90周年記念総会

開催

— 笠岡支部からも840名参加 —

婦人会創立90周年記念総会も、先月、結構なお日和を頂いて、無事つとめさせて頂きました。総会当日は、神苑を埋め尽くす人々で賑わい、引き続きの記念講演は、準備頂いた五会場のどこもが満杯で、入場頂けない会員さんまでた程でした。前晩のパレードも盛大で、御覧頂いた方々から感激の声を聞かせて頂きました。笠岡支部として、この度の総会に一千名の参加心定めをさせて頂きました。が、記録のとれた数で840名の参加数でした。記念総会は終わりましたが、私達にはまだ、今月22日の御臨席総会がひかえておりますので、もうひと息、気を抜かず日々をつとめさせて頂きたいと存じます。この度の総会は、「形のある事業はせずに、支部毎で定めさせて頂いた活動をもって、三年千日の成人に励ませて頂く」という本会のお打ち出しでしたので、支部としては、その年、年頭に、既に定めておりました、三年後の御臨席総会を目指す活動を、そのまま90周年活動として、精一杯つとめさせて頂く事としました。一年目、

かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377

郵便番号714-0066

(0865)

電話 66-1311

笠岡大教会 創立110周年

三年千日スローガン

論達を實踐し、をやの理を戴こう

本年の實踐項目

つとめに専心

百万軒にをいがけ

全教会で陽気ぐらし講座開催

おつとめの充実、女鳴物勉強会を、直属全委員部で開催させて頂きました。二年目、「一日一回おさづけの取り次ぎ」を目標に、日々のおさづけ取り次ぎを心がけさせて頂き、結果一人ひとりの心に、おさづけの取り次ぎが身近かなこととして広がった事を、喜ばせて頂いております。三年目、三年間の仕上げとして、また、大教会よりの百万軒にをいがけの後立ても頂いて、会員が自ら声がけて共におぢばへ帰えらせて頂くとうと、初めての方のおぢば帰えり、別席団参を含め、本部神殿でのおつとめを柱に計画させて頂き、一千名を超える方々と、おぢば帰えりさせて頂きました。この勢いを以って創立90周年へ、そして支部御臨席総会へと、決意も新たに、共に歩ませて頂いております。本当にそれぞれが「育つ努力」のスローガンのもとに、精一杯頑張らせて頂いた記念総会だったと思います。会員の皆様、本当にありがとうございます。これからこの総会を出発点として、新たな成人の塚にむかって、歩を進めて行きたいと存じます。

(上原きよ)

11月21日 目指して、百万軒 達成しよう!!

4月 月間総計 80,275軒

4月末日 累計 341,209軒

創立百十周年記念祭まで、あと557日

学生会 新入生歓迎会

4月30日(日)、おぢばで学ぶ学生を対象とした「新入生歓迎会」が詰所で開催され学生6人と担当委員等7人の合計13人が参加しました。

現在、笠岡に繋がり「おぢば」で学んでいる学生は天理高校1部4人、天理高校2部2人、親里高校5人、付属高校2人、天理大学7人、看護学院1人、専修科2人、奈良保育学院(白梅寮)1人と把握しているだけで24人です。

折角「おぢば」で学んでいても、学校が違ったり、またたとえ学校が同じでも知らなかったら、お互いに学生同士接する機会はほとんどありません。そこでここ数年「親睦会」を年に1度秋に開いているわけですが、新入生も入ってきてそろそろ学校や寮生活(下宿生活)に慣れたと思われるこの時期に新たに「新入生歓迎会」を催されました。

大教会長様も西伯分教会の鎮座祭を終え、その足でわざわざこの行事の為に駆けつけて下さいました。そして「おぢばの学校では、普通の学校で学べないことを学んでほしい」と述べられ、4月30日が「サイゴン陥落」の日であったことから「自由を守ろうとしたアメリカが、自由を得ようとし



たベトナムに負けた」とする新聞のコラム記事を引用されながら「自由」ということについて「多くの若者に見られる自由の履き違えをしないように」と注意を促された。そして「心一つの理が自由、それを教えてくれるのがおぢば」であると「心一つが我がの理」という教理をわかりやすくお話くださいました。

その後は、屋外で参加者全員がテーブルを囲みながら、予め用意されたアンケートに答える形で

各自が自己紹介をし、心理テストやビンゴゲームもしながらお腹一杯「焼肉」を食べ楽しい一時を過ごしました。

クラブ活動や教会の奉告祭等で参加出来なかった人も多く、参加者は少なかったのですが、大教会長様より「親睦会に限らずこんなことをしてほしい」というようなことがあれば遠慮なく言ってほしい」といった温かいお言葉を最後にいただき、「新入生歓迎会」は無事に終わりました。

学生担当委員会からのお願い

オジサンばかりで構成されている笠岡の学生担当委員会です。
学生層育成の上で「こうした活動をしたら」といったアイデアがありましたら、是非お知らせ下さい。
よろしく申し上げます。

「陽気ぐらし講座」 実施報告

鶴山分教会

中島 誠治

二月の二十日に大教会で「陽気ぐらし講座」推進研修会を受けた時点で四月中に教会と布教所で三ヶ所の会場で開催しよう。と勝手に決めて自教会に帰り、二十三日の役員会議で皆さんに相談したところ「そりゃあエエことじゃけど会長さんいつするんならな」との声。「早い方がええから四月の末にしましょうか?」「結構です。おまかせしますらあ」というやりとりで三会場の責任者が決まった。その夜、京塚先生に電話すると、京塚先生本人が、実物より若い声で「四月二十九日、三十日の日程はどないですかその前日に天中軒さんも兵庫県の豊岡まで来てはります。」ということであらふしぎ四月の末に開催決定となった。さて、勧誘の方はこと当人主催会場に限っていえば、町内の総会で案内チラシを配り、一週間のちに、信者さんと手分けをして、町内全戸に同じチラシを訪問しながら配布した。ポスターも御大師様の前とゴミ収集小屋など、人の集まる場所三ヶ所に貼って目をひくようにした。開催当日、講師と

会場に定刻十分前に着いたが、会館にはだれ一人来ておらず、只町内会長さんが所在なさそうに竹ぼうきで入口付近の落葉を掃いているだけだった。「ゴールデンウィークじゃから皆んな留守をしとるんじやろう」と力のない会話をしながら会場準備をしかけたらポロポロと人が集まって来た。始まる頃には、不思議と、座布団をひいた数だけの人が集まって下さり、やれやれと胸をなでおろしました。お陰様で三会場とも未信者の方が多勢足を運んで下さり京塚先生と天中軒さんの文字通りの熱演に來会した皆さんも大いに喜んで下さったと思います。何はともあれ「陽気ぐらし講座」も無事つとめることができました。地域の人も顔つなぎができたので、今後は色々な場面でのいがけの一端となるよう希望をもって毎年開催することを定めた。これからも町内なるほどの人となるよう、しっかりとつき合い先には教会で講座を開き、皆さんが寄り集まってお茶を飲みながら、なごやかなふん囲気の中で自然とお道の話ができるようになりたいものです。

高見島分教会

瀬良善彦

今年は笠岡大教会につながる全教会で「陽気ぐらし講座」開催をとお示し頂き、二月二十日には、実際にどのように実施したらよいかと、大教会で推進研修会を開催いただきました。

高見島分教会としても、何とか実施させて頂かなければと思いましたが、期日も実施の内容も決まらぬまゝに過ごして、このまゝではどうなる事かと先き案じばかりでした。

その中にも、幸いなことに、同じ地域に、大教会布教部長で興明分教会の吉岡先生、笠尋分教会の三嶋先生、錦ヶ原分教会の池平先生と、三ヶ所の会長様方が居られ、すばらしい行動力の方々に、早速に三月二日夜に興明分教会へ集まって実施の日程や内容の相談をしようと、呼びかけて頂きました。この先生方はこれまでに陽気ぐらし講座の実施経験のある方ばかりで、大変有難く早速仲間に入れて頂きました。

そして今回の日程を、四月二十九日午前十時から十二時まで錦ヶ原分教会、同日午後二時から午後四時まで高見島分教会として岡山市第一藤田コミュニティハウス、四月三十日午前十時から十二時まで笠尋分教会として岡山市中畦学校地公会堂、同日午後二時から午後四時まで興明分教会として岡山市中畦の藤沢祚夫さん宅と以上四会場を決め



て、講師を藤原晃雄先生にお願いすることにしてその場で電話したところ、申込みの二日間は都合よく内定しました。次に、合わせて歌謡ショーを実施すべく歌手の橘香滋さんにも連絡したところ、これも都合良く、二十九日の夜の泊りの予約やら迎いの役割とか、どんく決定しました。

その後は、いかに多く運んで声をかけ、各会場にいかにか大勢集ってもらえるかにかゝってきました。実際にどこの会場も、実施報告書にみるように、未信者の方々が大勢集って下さり、大変喜んで下さったように思います。

講座の内容も、其の後廻らせて頂いたところでは、良くわかるお話しであった、又このような催しがあれば必ず参加したいとのこと。歌謡ショー

も、陽気ぐらし講座にふさわしく、大変なもり上りようでした。

高見島分教会としても、総数五十六名、その内、未信者数三十八名で、内夫婦で八組の参加は大変有難く、家内等、一生懸命声をかけさせて頂いたこと、大変よろこばせていただきました。

今後は、この参加者に対して、こと有るごとに声をかけて、今回参加出来なかった人にも、次回には参加していただくよう、又、早い内に開催できるように、つとめさせて頂きます。

有難とうございました。



心の通ひ路

Heaven & Mine - Easy

弁天さんと私

明石市分教会長 杉原博之

夜、急な連絡で「弁天さんのお扉が誰かに破られた」と悲痛な訴え。翌日駆けつけてみると無惨に鍵が引き抜かれてお扉が少し開いている。覆面を付けて中を改め御神体の在るのを確認する。良かった。在る！とりあえずお扉を閉じさせて頂い

た。賽銭泥棒なら許せるが(?) お扉を開けてというのは、繋がる方にとっては、絶対に許せない事だ。後日、弁財天大社の役員会議を持たれ、お扉破損によるお詫びの儀式を行うこととなって、私が祭主の依頼を受けた。4月23日、神前に役員

が集い、私は大麻を払い、献饌をし、祭文を奏上し、一言の話をさせて頂いた。話と言っても私の出来る話と言えばお道の話しかない。節から芽が出る“大難は小難”と話をさせて頂いた。その中に役員の一の方の方が「こんな事した奴は罰が当たるで」と言われたので、「神様は罰を当てませんよ、自分の心、癖性分、お扉を破るような通り方をしている自分の心が不幸を招いたり警察に

世話になるとなって結局、自分が自分に罰を当てることになるんですよ」と話しもさせて頂いた。集まられた役員は10名程、平均年齢55才位でした。男性5名、女性5名の本当に一目で善男善女。みんな儀式が終われば心の底から吻つとして心安心の顔をされている。なんだか、うらやましく感じるくらいの陽気さだ。御神酒を少し頂いて過分な感謝を頂いて教会へ帰る。

この弁天さんには、15年前から、ひのきしんをさせて頂いている。世話代表(信者代表と言うのか?)の方に頼まれて、一年一度の祭典(毎年7月17日)に司会者として、進行を受け持っている。雅楽をカセットで流したり、参拝を促したり。祭典の祭主は人丸山の宮司さんが行っているが、今回のようなお扉破損(2回目)とか、祭典の後のアトラクションにバンドを呼んできたりするのは、私の役目だ。

勿論役員の方や参拝される信者さんは私か天理教の人間だということ、よく知っている。でもその私が弁天さんに関わるのを許すという心から歓迎してくれている。私も皆さんを天理教に導こうなどと考えていない。(正直な気持ち、少しは夢も見ています)このひのきしんは、世間のボランティアの人がやろうと思っても出来ない分野の一つじゃないかな。これからは誠意を持って地域の神様、繋がる善意の方々のために微力を注ぎたいと思っている。

四月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます 親神天理王命の御前に 会長 上原理 一 慎しんで申し上げます

親神様の一れつ子供に陽気ぐらしさせてやりたいとの妙なるご守護のまに、今は「春うららの……」とつい歌い出してしまいそうな時候を迎え 気温と共に心も緩み 思わず「有難いなあ結構やなあ」と喜びの言葉も出てまいります 改めて親神様に「有難うございます」と御礼申し上げます 次第でございます かしながら そんな結構な中にありながら その結構さを忘れ 或いは知らずに 物欲に溺れ 身上事情に苦しみ悩む人が多くいますことは 誠に申し訳なく 少しでも「陽気ぐらしを共に楽しみたい」との思召に近付かせて頂きたいものと 私共は 日夜御礼を申し上げます ご恩報じを思い念じて たすけ一条の上に届かぬながらも精一杯勤めさせて頂いております

その中にも この月は 月日の社となられ 陽気ぐらしへのひながたを自らお通り下され 今も存命で世界たすけにお働き下さっている教祖が お生まれになられた芽出度い月でございますので 今日を楽しみに寄り集いましたおつとめ奉仕者始め理に繋がる道の子供達共々に 言祝ぎ心と日頃の感謝の心を一つに睦び合わせて 只今から 明るく陽気に勇んで 座りづとめてをどりをつとめて 四月の月次祭を執り行わせて頂きます 皆の勇み心をご覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいませ ようお願い申し上げます

又 十八日の教祖御誕生祭には 一人でも多くの人を誘って参拝をさせて頂き 教祖にお喜び頂きたいと存じます 特に 続く十九日は 婦人会創立九十周年記念総会がございますので 婦人会員層により力を入れて帰参させて頂く所存でございます 加えて 婦人会笠岡支部では 五月二十二日に 婦人会長様御臨席総会を大教会で開催させて頂く運びになっております 道の台であるお互いが 心を一つに合わせて 総会を盛大に執り行うと共に 教祖の道具衆との自覚を高め合って 家内のたすけを土台としたたすけ一条の上に邁進させて頂く覚悟でございます 更には 又 二年前の真柱継承の儀に思いを馳せ 諭達に込められた思いを改めて思索し 気持ちも新たに 今年の実践項目を通して「ひのきしんと世界たすけ」の実動に邁進させて頂く所存でございます

何卒 親神様には「側が勇めば神も勇むる」とのお言葉通り 皆の勇み心の真実をお受け取り下さいます 万たすけの上なたすけの実をお現し下さいます 親を知り 一列兄弟の理に目覚めて互いに助け合う陽気ぐらしの世の状に 一日も早く立て替わります ようお導きの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

教会長としての私生活

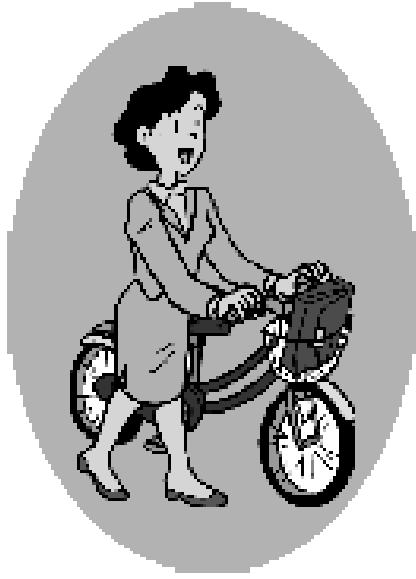
宇津戸分教会長 松 谷 静 子

三代会長出直後一年余り会長不在のままの教会でした。

平成六年の登殿参拝の節目の時、平成五年五月の月次祭後、今日は、どうでもこうでも会長を決めなければ帰れない、と上級会長様始め、皆で話し合いをし、あの人、この人の声もありましたが、それ／＼事情ありて、私が「胃がん」の全摘手術をし、御守護頂いているので、「これからは恩報じをして通らにゃいかん」との教人の方の声に、大役云云でなく、私自身、三ヶ月余りの入院で廻りの人々が「もてそうもない」との噂も流れたにも拘わらず「新たに頂いた命」と常々思っておりますし、私に出来るご用は喜んで何事もさせて頂こうと心定めの上に日々を通らせて頂いておりますので、恩報じをしたくないとは云えませんでした。

唯、何をどの様にすれば良いのか、どんな事をするのか、頭の中が白いままで、私も仕事も持っていましたので、祭文書くだけで良いよ、そんな事情でお請けさせて頂いた訳です。その時、上級会長様より「会長は、常に百人の信者さんがいたなら、百人の人の下の心になれ」と云われました。

以来、六年余り教会は「陽気ぐらし道場」「たすけ道場」と聞いております。月次祭を楽しみに



喜び心でおつとめ頂けます様、明るく陽気溢るゝ教会であります様、互い立て合い助け合い、持ち場立ち場のおつとめ・ひのきしんをして下さり、節目節目の心の支えなればと思つていますが、現実には、支えて下さつていゝと実感し、感謝している今日です。

昨今、世上の出来事は、人の心は弱きもの、いえ、人間一人では生きられない弱きものと思ひます。廻りの事情、身上、成つて来るのが天の理ではありますが、廻りに振り廻される事があまりに多く、それゆゑに、よほど心しつかり、と云つた事の大切さを、この道、教理の素晴らしさを、お互い広め伝え、心が助かる様、助ける心が助かる心と成ります様に、教会内容の充実に向けて、祭典後、鳴物練習を、との声も最近出ました。

急がず、焦らず頑張らせて頂きま

大教会だより

II 教会指令 II

◎ 神殿屋根葺替願

呉 福 分教会

☆ 遷座祭立教163年 5月5日

☆ 鎮座祭立教163年 6月3日

☆ 奉告祭立教163年 6月4日

立教163年 4月18日

訂正とお詫び

前号 “ふたことみこと

”の「上段12行目…先日、

おぢば」から「下段14行

目…ありがたい事でした」

まで、全文がダブつて挿

入されておりました。

コンピューターで編集

をしていると、ちよつと

したキー操作のミスでこ

のようなことが起こ

るので困りものです。

ここに訂正し、お詫び

いたします。

縦の伝道講習会

日時 6月21日 大教会6月月次祭祭典講話として
 対象 教会長夫妻・布教所長・よふぼく

学生層育成講習会

日時 7月21日 大教会7月月次祭祭典講話として
 対象 教会長・よふぼく
 内容 ビデオテープによる学生会活動の紹介と講話

ふたことみこと

ある時、お嬢さんに来られて20年になる上級の「用木さん」が、呑める口？を持つているのに、以前から、見様に“遠慮して、遠ざかる態度を見て「ちよつと変わつてゐるナ、自分も嬢さんで、呑むし、喋るし、さわぐのに……。同じ様にやったらええのにナ」と、言つたら、私の“お道の師匠さん”が「何を言うか！あの人は全くの普通の人だ。大変変わつてゐるのは、お前の方や！」と、またもや叱咤をいただいた。「人を鏡に」と修養科で教わりましたが、正にその通り、「自分の心が病んでゐる時、相手が悪く見えて来るのやで。心に何が映つてゐるかで自分の因縁を知る事なのや。」とも諭していただいた。

その時、実は自分が変わつてゐるのであり、相手が自分の前生での姿であり、写つた相手が“真の自分の姿”であつたのです。それを神様より教えて頂き、因縁の納消をさせて頂く「大切な」相手であるのだ。と御教示頂いた有難い上級の祭典の午後でした。

「陽気ぐらし講座」実施状況と開催予定

実施状況

4月	10教会	12会場
5月1日～20日	16教会	16会場

開催予定

開催日	教会名	会場名	講師名	芸能者
5月27日	海松ヶ岡	川北公会堂	山田鎮郎	天中軒 鵬
	新山邑	新山邑分教会	〃	〃
	芳井	東吉井コミュニティハウス	〃	〃
28日	弥高山	弥高山分教会	〃	〃
	陶山	陶山公会堂	〃	〃
6月10日	神昭	神昭分教会	富松幹禎	橘 香滋
	芦加茂	小川さん宅	〃	〃
	品治	高橋行さん宅	〃	〃
	門司港	門司港分教会	京塚 貢	天中軒 鵬
11日	仲條	中条中組公民館	富松幹禎	橘 香滋
	惠陽	佐能さん宅	京塚 貢	天中軒 鵬
	稲倉	稲倉コミュニティハウス	京塚 貢	天中軒 鵬
	稲瀬	井原向町公民館	京塚 貢	天中軒 鵬
	島中	島中分教会	小野宏昭	滝沢てるみ
15日	葦沼		東 誥 涼	鳥羽ゆう子
16日	國須	(株) たまや	〃	〃
	眞府	眞府分教会	〃	〃
	上備	上備分教会	〃	
17日	行滕	行滕コミュニティ集会所	〃	
	清嶽	清嶽分教会	〃	
	上下	上下分教会	〃	
18日	上吉野	上吉野分教会	〃	
	木津和	木津和分教会	〃	
	上小畠	三和町亀石地区集会所	〃	
28日	福廣	福廣分教会	藤原晃雄	滝沢てるみ
	福勇	福勇分教会	〃	〃
	安那	安那分教会		
	芦田川	芦田川分教会		
	芦常	芦常分教会		
29日	廣町	廣町分教会	藤原晃雄	滝沢てるみ
	福芦	福芦分教会	〃	〃
	芦辺	今岡老人クラブ		
	三郡	三郡分教会		



第 7 1 0 期 修 養 科 募 集 要 項

*** 修養科期間**

立教163年6月1日～8月27日

*** 教 養 掛**

3ヶ月間	西 江 昌 直	(大教会役員・金 浦 分教会長)			
1ヶ月目	三 代 幸	(米 府 分教会長)			
2ヶ月目	杉 原 博 之	(明石市分教会長)			
3ヶ月目	渡 邊 眞 次	(品 治 分教会長)	助手	藤井保人	(福東分教会)

*** 募集要項**

- ・ 志願者は、6月末日現在で満17歳以上で、下表の必要書類を携え、上級教会を經由して大教会に順序参拝すること。
- ・ 5月25日までに笠岡詰所に入所し、教養掛の面接を受けること。
- ・ 3ヶ月の修養期間を修了後は、大教会での修養科修了講習会を受講し、29日の昼食後に解散。

*** 教 科 書 (必須)**

『おふでさき』、『みかぐらうた』、『天理教教典』、『稿本天理教教祖伝』、『よふぼく手帳』。

*** 参 考 書 (出来れば持参)**

『おてふり概要』、『なりもの練習譜』(笛・打楽器または三曲)、『おやしき・史跡案内』。

*** 携 行 品**

おつとめの扇、筆記用具、認印、笛(男鳴物の講義で笛と小鼓の内、笛を選択する人のみ)。

*** 服 装**

ハッピー及び帯・バンド、長ズボン(又は、それに類するもの)、靴。

書 類	大教会	詰所	備 考
「順序参拝票」	○	○	
別 席 願	○	○	・「初席願」の順序参拝がまだの者で、修養科入学後に初席を運ぶ者のみ。
「席 札」		○	
「別席のしおり」	○	○	・ 願書に日付を入れない事。
大教会 御供	○		・ おさづけの理拝戴願の順序参拝も合せて行なう。
本 部 御供		○	・ 「別席の誓いの言葉」は別席の誓いの日までに覚えること。
「おさづけの理拝戴願」	○	○	・ 「おさづけの理拝戴願」の順序参拝がまだの者で、修養科入学後におさづけの理を拝戴する者のみ。
「おはなし」	○		
大教会 御供	○		・ 願書に日付を入れない事。
本 部 御供		○	
「修養科入学願」		○	・ 御供は任意であるが、慣例により、200円以上。
「修養科入学事由書」		○	
修養科入学御供	○		
「住民票」または「戸籍抄本」		○	・ 「戸籍記載事項証明書」、「身分証明書」でもよい。

